

私は

たくさんの人と話すこと

が好き!

農業

農林水産部 園芸課

令和5年度採用

わたしを表すKEY WORD

#新幹線通勤

実家のある郡山市から福島市まで（約15分）新幹線通勤をしています。「新幹線通勤」と言うと驚かれることが多く、自慢できます。

#友人

県庁勤務なので同じ建物に同期がたくさんいます。お昼休みには敷地内の公園でお散歩をしています。プライベートでも温泉やドライブ等に出かけています。

#旅行

#映画

#美味しい食べもの



園芸作物で福島県の農業を元気にします！

ハウス栽培等に利用する燃料の価格高騰に対する補助や、県の特産農作物の生産振興のための補助金を扱う業務を行っています。例えば、福島県で栽培が盛んな「おたねにんじん」の生産や需要の拡大に向けた補助金を扱っています。また、おたねにんじんのイベントの開催等があった時、特産農作物の振興に貢献できたと実感します。

県職員を目指した理由

震災復興に貢献したいという思いが強いためです。東京五輪で福島県産の桃が美味しいと話題になり、とても誇らしく思いました。もっと福島県の農作物の美味しさや安全性を全国や世界に知ってもらいたいと思い、志望しました。



とある一日のスケジュール

8:30	メール確認
8:45	農業総合センターへ出張
10:00	燃料高騰に関する支援事業の説明会
12:00	昼休み

13:00	移動（帰庁）
14:00	問い合わせ対応 メール確認
14:30	補助事業の計画書審査
16:00	県内の花粉交配用蜜蜂の不足状況取りまとめ 国への報告
17:15	終業

職場の雰囲気

園芸課には16人の職員がいて、皆さん本当に尊敬できる方々です。席は給食の時の机のイメージで、壁がなく話しやすいです。他の課も一緒の部屋なので、周囲では打ち合わせや電話の声などが絶えず聞こえていますが、飛び交う福島訛りで温かい雰囲気です。



福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



福島県と言えば「震災」ではなく「美味しい農作物」と誰もが思えるような県を実現していきたいです。そのため、まずは農作物に関する知識が豊富な職員になることを目標としています。現在は事務作業が多いですが、将来は普及員や研究員としての業務を経験し、多くの方に頼ってもらえる職員になれるよう、日々の業務に尽力していきたいです。

受験者へメッセージ

福島県は美しい自然や美味しい農作物がたくさんあります。この魅力を多くの人に知ってもらえるよう、福島県職員としていつか皆さんと一緒にお仕事ができるのを楽しみにしています。